

磔と如意寶珠の如に侍也。然るを佛教の中の大小權實をも辨へざる人師などが、佛教を知がほにして、佛の名號を外道等に對して如意寶珠に譬へたる經文を見、又法華經の題目を如意寶珠に譬へたる經文と喩の同をもて、念佛と法華經とは同事と思へる也。同事と思故に、又世間に貴と思人の只彌陀の名號計を唱に隨て、皆人一期の間一日に六萬遍十萬遍など申せども、法華經の題目をば一期に一遍も唱へず。或は世間に智者と思はれたる人人、外には智者氣にて内には佛教を辨へざるが故に、念佛と法華經とは只一也。南無阿彌陀佛と唱れば法華經を一部よむにて侍るなど申あへり。是は一代の諸經の中に一句一字もなき事也。設ひ大師先德の釋の中より出たりとも、且は觀心の釋歟、且はあて事歟、などと心得べし。法華經の題目は過去に

十萬億の生身の佛に値ひ奉て、功德を成就する人、初て妙法蓮華經の五字の名を聞き、始て信を致す也。諸佛の名號は外道・諸天・二乘・菩薩の名號にあはすれば、瓦礫と如意寶珠の如なれども、法華經の題目に對すれば、又瓦礫と如意寶珠との如し。當世の學者は法華經の題目と諸佛の名號とを功德ひとしと思ひ、又同事と思へるは、瓦礫と如意寶珠とを同と思ひ、一と思が如し。止觀五云、設厭世者、翫下劣乘、攀附枝葉、

① 南無阿彌陀佛と唱ふれば念佛は④ ② 名=名號④ ③ 菩薩=等④ ④ [法華經の...如し]23字一④ ⑤ 一=齊④

狗狎クワ作務ニ敬ヒテ彌猴ヲ爲シ帝釋ト崇メテ瓦礫ヲ是明珠ナリトス此黑闇人ニ豈可シ論ヲ道等ヲ云云。文の心は設
ひ世をいとひて出家遁世して山林に身をかくし、名利名聞をたちて一向後世を祈る
人人も、法華經の大乗をば修行せずして、權教下劣の乗につきたる名號等を唱るを、
瓦礫を明珠などと思たる僻人に譬へ、聞き惡道に行べき者と書れて侍也。弘決の
一には妙樂大師善住天子經をからせ給て、法華經の心を顯はして云、聞テ法生ヲ謗ヲ墮ハ於
地獄勝ニ於ニ供スル恆沙ノ佛ヲ者等ト云云。法華經の名を聞てそしる罪は、阿彌陀佛・釋迦佛藥
師佛等の恆河沙の佛を供養し名號を唱るにも過たり。されば當世の念佛者の念佛を
六萬遍乃至十萬遍申①など云へども、彼にては終に生死をはなるべからず。法華經
を聞クをば千中無一雜行未有一人得者など名て、或は抛テよ、或は門を閉テよ、など申
謗法こそ設ヒ無間大城に墮るとも、後に必生死は離れ侍らンずれ。同クは今生に信を
なしたらばいかによく候なん。問、世間の念佛者などの申様は、此身にて法華經な
んどを破する事は争か候べき。念佛を申も、とくとく極樂世界に参りて法華經をさ
とらんが爲也。又或云、法華經は不淨の身にては叶ヒがたし、恐シもあり。念佛は不淨を
も嫌はねばこそ申候へ、など申スはいかん。答云、此四五年の程は、世間の有智無智